

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.



Vol. 29, No. 11 ACTA UROLOGICA JAPONICA November 1983

泌尿器科紀要

第29巻 第11号 1983年11月

職業性尿路癌の生化学	松島 正浩・安藤 弘	1383
尿管S状結腸吻合術の臨床的検討	高崎 登・ほか	1395
尿管S状結腸吻合術後患者の大腸鏡による観察	高崎 登・ほか	1401
経腹の後腹膜リンパ節吸引生検法	星 宣次・ほか	1411
前立腺肥大症に対する chlormadinone acetate の臨床効果 —超音波断層法による前立腺の形態および重量の変化 (3カ月間)の検討—	吉田 英機・ほか	1419
膀胱内注入療法に関する研究	山中 英寿・ほか	1427
前立腺癌に対する Peplomycin の筋注と癌組織内局注療法	藤本 佳則・ほか	1433
当院8年間の膀胱全摘除術施行症例の臨床統計	荒井 陽一・ほか	1443
¹²³ I-orthohippurate を用いた renoscintigram および functional image, ことに水腎症における応用	伊藤 坦・ほか	1451
閉塞性腎疾患に関する臨床的検討 第2報: 閉塞腎の機能と ^{99m} Tc-Dimercaptosuccinic Acid (DMSA) 腎摂取率の関係について	村山 鉄郎・ほか	1463
細胞診による膀胱腫瘍術後の評価	川地 義雄	1469
Photocystoscopy —新しい光学視管とボラロイドカメラの 使用経験を中心に—	三木 誠・ほか	1475
過去10年間の小児先天性神経因性膀胱症例に関する臨床的検討	川口 光平・久住 治男	1481
Circle tube nephrostomy —Nephrostomy tube ならびに Connector の試作—	村上 光右・ほか	1493
転移性腎腫瘍	杉山 高秀・ほか	1499
家族性膀胱尿管逆流現象	朴 勺・ほか	1507
Basedow 氏病に対する ¹³¹ I 治療の既往のみられた 副甲状腺機能亢進症の1例	川村 寿一・ほか	1513
腎平滑筋肉腫の1例	金丸 洋史・佐々木美晴	1521
停留睪丸腫瘍の5例	佐藤 信夫・ほか	1525
副甲状腺機能亢進症を伴った両側副甲状腺嚢腫の1例(英文)	郭 俊逸・ほか	1531
淋菌性感染症の疫学的・治療学的研究(1) —持続性アモキシシリン(L-AMPC)による検討—	熊本 悦明・ほか	1537

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine
Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

出 帯 禁
到着後 1ヶ月間

購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (i) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
 - (ii) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (iii) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または 山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (iv) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (v) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (vi) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (vii) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
3. 掲載
 - (i) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (ii) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (iii) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主 幹)